



# CLI の使用方法

Catalyst 2960 スイッチは、Cisco IOS ソフトウェアでサポートされています。ここでは、ソフトウェア機能を設定するためのスイッチ CLI（コマンドラインインターフェイス）の使用方法について説明します。

これらの機能をサポートするコマンドの完全な説明については、[第 2 章「Catalyst 2960 スイッチ Cisco IOS コマンド」](#)を参照してください。ブート ロードの詳細については、[付録 A「Catalyst 2960 スイッチ ブート ロード コマンド」](#)を参照してください。また、**debug** コマンドの詳細については [付録 B「Catalyst 2960 スイッチ デバッグ コマンド」](#)を、**show platform** コマンドの詳細については [付録 C「Catalyst 2960 スイッチ show platform コマンド」](#)を参照してください。Cisco IOS Release 12.2 のさらに詳しい情報については、『*Cisco IOS Release 12.2 Command Summary*』を参照してください。

タスク別の構成手順については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドを参照してください。

このマニュアルでは、IP は IP version 4（IPv4; IP バージョン 4）について言及しています。

## CLI コマンドモード

ここでは、CLI コマンドモードの構造について説明します。コマンドモードは、特定の Cisco IOS コマンドをサポートします。たとえば、**interface interface-id** コマンドは、グローバル コンフィギュレーションモードで入力されたときだけ機能します。

以下は、スイッチの主なコマンドモードです。

- ユーザ EXEC
- イネーブル EXEC
- グローバル コンフィギュレーション
- インターフェイス コンフィギュレーション
- config-vlan
- VLAN コンフィギュレーション
- ライン コンフィギュレーション

表 1-1 に、主なコマンドモード、各モードへのアクセス方法、各モードで表示されるプロンプト、およびモードの終了方法を示します。表示されているプロンプトは、デフォルト名として *Switch* を使用しています。

表 1-1 コマンドモードの概要

コマンドモード	アクセス方法	プロンプト	終了または次のモードのアクセス
ユーザ EXEC	これが最初のアクセス レベルです。  (スイッチについては) ターミナル設定を変更し、基本タスクを実行し、システム情報を一覧表示します。	Switch>	<b>logout</b> コマンドを入力します。  イネーブル EXEC モードを開始するには、 <b>enable</b> コマンドを入力します。
イネーブル EXEC	ユーザ EXEC モードから、 <b>enable</b> コマンドを入力します。	Switch#	ユーザ EXEC モードに戻る場合は、 <b>disable</b> コマンドを入力します。  グローバル コンフィギュレーションモードを開始するには、 <b>configure</b> コマンドを入力します。
グローバル コンフィギュレーション	イネーブル EXEC モードから、 <b>configure</b> コマンドを入力します。	Switch(config)#	イネーブル EXEC モードに戻る場合は、 <b>exit</b> または <b>end</b> コマンドを入力するか、 <b>Ctrl-Z</b> を押します。  インターフェイス コンフィギュレーションモードを開始するには、 <b>interface</b> コンフィギュレーションコマンドを入力します。
インターフェイス コンフィギュレーション	グローバル コンフィギュレーションモードで、 <b>interface</b> コマンドに続けてインターフェイス ID を入力し、インターフェイスを指定します。	Switch(config-if)#	イネーブル EXEC モードに戻る場合は、 <b>end</b> コマンドを入力するか、 <b>Ctrl-Z</b> を押します。  グローバル コンフィギュレーションモードに戻る場合は、 <b>exit</b> コマンドを入力します。

表 1-1 コマンドモードの概要 (続き)

コマンドモード	アクセス方法	プロンプト	終了または次のモードのアクセス
config-vlan	グローバル コンフィギュレーションモードから、 <b>vlan</b> <i>vlan-id</i> コマンドを入力します。	Switch(config-vlan)#	グローバル コンフィギュレーションモードに戻る場合は、 <b>exit</b> コマンドを入力します。  イネーブル EXEC モードに戻る場合は、 <b>end</b> コマンドを入力するか、 <b>Ctrl-Z</b> を押します。
VLAN コンフィギュレーション	イネーブル EXEC モードから、 <b>vlan database</b> コマンドを入力します。	Switch(vlan)#	イネーブル EXEC モードに戻る場合は、 <b>exit</b> コマンドを入力します。
ライン コンフィギュレーション	グローバル コンフィギュレーションモードから、 <b>line</b> コマンドを入力することにより、ラインを指定します。	Switch(config-line)#	グローバル コンフィギュレーションモードに戻る場合は、 <b>exit</b> コマンドを入力します。  イネーブル EXEC モードに戻る場合は、 <b>end</b> コマンドを入力するか、 <b>Ctrl-Z</b> を押します。

## ユーザ EXEC モード

装置にアクセスすると、自動的にユーザ EXEC コマンドモードに入ります。ユーザ レベルで使用可能な EXEC コマンドは、イネーブル レベルで使用可能な EXEC コマンドのサブセットです。一般に、ユーザ EXEC コマンドは、端末設定の一時的変更、基本テストの実行、システム情報の一覧表示などに使用します。

サポートされているコマンドは、ご使用のソフトウェアのバージョンによって異なります。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch> ?
```

## イネーブル EXEC モード

イネーブル コマンドの多くは動作パラメータの設定に関係しているので、無許可の使用を防ぐため、イネーブル コマンドへのアクセスはパスワードで保護する必要があります。イネーブル コマンドセットには、ユーザ EXEC モードのコマンドと、それ以外のコマンドモードへアクセスするための **configure** イネーブル EXEC コマンドが含まれます。

システム管理者がパスワードを設定した場合は、イネーブル EXEC モードへのアクセスが許可される前にパスワードの入力を要求するプロンプトが表示されます。パスワードは画面には表示されません。また大文字と小文字が区別されます。

イネーブル EXEC モードのプロンプトは、装置名のあとにポンド記号 (#) が付きます。

```
Switch#
```

イネーブル EXEC モードにアクセスするには、**enable** コマンドを入力します。

```
Switch> enable
Switch#
```

サポートされているコマンドは、ご使用のソフトウェアのバージョンによって異なります。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch# ?
```

ユーザ EXEC モードに戻る場合は、**disable** イネーブル EXEC コマンドを入力します。

## グローバル コンフィギュレーション モード

グローバル コンフィギュレーション モードは、装置全体に作用する機能に適用されます。グローバル コンフィギュレーション モードを開始するには、**configure** イネーブル EXEC コマンドを使用します。デフォルトでは、管理コンソールからコマンドを入力します。

**configure** コマンドを入力すると、コンフィギュレーション コマンドの送信元の入力を要求するメッセージが表示されます。

```
Switch# configure
Configuring from terminal, memory, or network [terminal]?
```

コンフィギュレーション コマンドの送信元として、端末または NVRAM (不揮発性 RAM) のいずれかを指定することができます。

次の例では、グローバル コンフィギュレーション モードにアクセスする方法を示します。

```
Switch# configure terminal
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
```

サポートされているコマンドは、ご使用のソフトウェアのバージョンによって異なります。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch(config)# ?
```

グローバル コンフィギュレーション コマンドモードを終了してイネーブル EXEC モードに戻る場合は、**end** コマンドまたは **exit** コマンドを入力するか、または **Ctrl-Z** を押します。

## インターフェイス コンフィギュレーション モード

インターフェイス コンフィギュレーション コマンドは、インターフェイスの動作を変更します。インターフェイス コンフィギュレーション コマンドは、常にインターフェイス タイプを定義するグローバル コンフィギュレーション コマンドのあとに続きます。

インターフェイス コンフィギュレーション モードにアクセスするには、**interface interface-id** コマンドを使用します。新しいプロンプトはインターフェイス コンフィギュレーション モードを示しています。

```
Switch(config-if)#
```

サポートされているコマンドは、ご使用のソフトウェアのバージョンによって異なります。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch(config-if)# ?
```

インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了してグローバル コンフィギュレーション モードに戻る場合は、**exit** コマンドを入力します。インターフェイス コンフィギュレーション モードを終了してイネーブル EXEC モードに戻る場合は、**end** コマンドを入力するか、**Ctrl-Z** を押します。

## config-vlan モード

標準範囲 VLAN (VLAN ID 1 ~ 1005) を設定したり、VTP モードがトランスペアレントで拡張範囲 VLAN (VLAN ID 1006 ~ 4094) を設定したりする場合は、このモードを使用します。VTP モードがトランスペアレントである場合は、VLAN 設定および VTP 設定は実行コンフィギュレーション ファイルに保存されるので、**copy running-config startup-config** イネーブル EXEC コマンドを実行して、これをスイッチのスタートアップ コンフィギュレーション ファイルに保存できます。VTP がトランスペアレント モードまたはサーバ モードの場合、VLAN ID が 1 ~ 1005 の VLAN の設定は、VLAN データベースに保存されます。拡張範囲 VLAN 設定は、VLAN データベースには保存されません。

config-vlan モードを開始するには、**vlan vlan-id** グローバル コンフィギュレーション コマンドを入力します。

```
Switch(config)# vlan 2000  
Switch(config-vlan)#
```

サポートされるキーワードは様々ですが VLAN コンフィギュレーション モードで利用できるコマンドと似ています。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch(config-vlan)# ?
```

拡張範囲 VLAN については、MTU サイズ以外のすべての特性はデフォルト設定のままにしておいてください。

グローバル コンフィギュレーション モードに戻る場合は、**exit** を入力します。イネーブル EXEC モードに戻る場合は、**end** を入力します。**shutdown** 以外のすべてのコマンドは、config-vlan モードを終了したときに有効になります。

## VLAN コンフィギュレーション モード

VLAN コンフィギュレーション コマンドを使用して、VLAN ID 1 ~ 1005 に対応する VLAN パラメータを作成または変更できます。

**vlan database** イネーブル EXEC コマンドは、VLAN コンフィギュレーション モードを開始します。

```
Switch# vlan database  
Switch(vlan)#
```

サポートされているコマンドは、ご使用のソフトウェアのバージョンによって異なります。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch(vlan)# ?
```

イネーブル EXEC モードに戻る場合は、**abort** VLAN コンフィギュレーション コマンドを入力して、設定しようとしたデータベースを放棄します。または、**exit** を入力して、設定しようとする新しい VLAN データベースを実装し、イネーブル EXEC モードに戻ります。**exit** または **apply** を入力すると、コンフィギュレーションが VLAN データベースに保存されます。VLAN コンフィギュレーション モードで、コンフィギュレーションをスイッチ コンフィギュレーション ファイルに保存することはできません。

## ライン コンフィギュレーション モード

ライン コンフィギュレーション コマンドは、端末ラインの動作を変更します。ライン コンフィギュレーション コマンドは、常にライン番号を定義するライン コマンドのあとに続きます。端末パラメータ設定をラインごとに、または特定の範囲のライン全体で変更するには、このコマンドを使用します。

ライン コンフィギュレーション モードを開始するには、**line vty line\_number [ending\_line\_number]** コマンドを使用します。次の新しいプロンプトはライン コンフィギュレーション モードを示しています。次の例では、仮想端末ライン7でライン コンフィギュレーション モードを開始する方法を示します。

```
Switch(config)# line vty 0 7
```

サポートされているコマンドは、ご使用のソフトウェアのバージョンによって異なります。コマンドの包括的なリストを表示するには、プロンプトで疑問符 (?) を入力します。

```
Switch(config-line)# ?
```

ライン コンフィギュレーション モードを終了してグローバル コンフィギュレーション モードに戻る場合は、**exit** コマンドを使用します。ライン コンフィギュレーション モードを終了してイネーブル EXEC モードに戻る場合は、**end** コマンドを入力するか、**Ctrl-Z** を押します。